

事務事業評価シート(平成23年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
54221	図書館管理運営事業	教育委員会	図書館	向山光	吉澤志津江
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2550
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	予算コード 1052	事業名(歳出予算見積書) 図書館管理運営事業	
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A	
	第五次総合計画前期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	5章	学びあいと育てあいのまちづくり	
		節 (コード選択)	4節	生涯学び続けられる環境の充実	
		項[基本施策] (コード選択)	2項	社会教育活動の推進	
		目[主な施策] (コード選択)	2目	図書館のサービス向上	
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第五次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) T10 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

住民、辰野町在勤・在学者、辰野図書館の資料を利用したい方に対して行っている事業です。

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

最終的な目標は住民の皆さんが幸せで満ち足りた日々を過せることにあります。そのために、利用者が求める資料や情報をすばやく確に得られるような環境を整えたとともに、来館した方が快適な空間で心地よい時間を過せる図書館を目指しています。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 地域の情報拠点として情報を蓄積保管します。
- 読書施設として、静謐な環境を提供できるよう館内整備を行います。
- 通常の貸出業務を正確に処理するとともに、リクエスト、予約、レファレンスに積極的に対応します。
- サービス充実などのために、ボランティアの参加をお願いします。

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名 蔵書数	冊	61,847	63,016	64,000	0.98	64,000
	説明 所蔵する資料の数	目標値設定の根拠	実績より見込む				
②	指標名 リクエスト、予約数	件	1,249	1,260	1,300	0.97	1,300
	説明 リクエスト、予約数	目標値設定の根拠	実績より見込む				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		22年度	23年度	27年度(見込み)	達成率	27年度(見込み)	年度(見込み)
①	指標名 利用者数	人	19,200	20,103	21,000	0.96	21,000
	説明 図書館資料利用者数	目標値設定の根拠	実績より見込む				
②	指標名 貸出冊数	冊	75,772	79,855	85,000	0.94	85,000
	説明 図書館資料貸出冊数	目標値設定の根拠	実績より見込む				

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法 決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成22年度決算	平成23年度決算	平成24年度見込み
		32,835	34,993	36,382
対前年比	%		106.6	104
A)その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)				
B)一般財源(税金)		32,835	34,993	36,382
①事業費	(千円)	18,782	20,630	21,556
対前年比	%		109.8	104.5
②人件費の概算	(千円)	14,053	14,363	14,826
対前年比	%		102.2	103.2
		年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員(正規職員)		8,418	8,149	7,960
臨時職員		5,635	6,214	6,866

人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート

指標化



(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	B	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 町内小中学校、上伊那広域との連携 C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している カウンター、協議会、ボランティアのみなさんなどから恒常的に話をうかがっています。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

環境整備は、福祉空間整備事業補助金による世代間交流施設の建設、光交付金による、屋上笠木防水工事・2階トイレ改修工事・館内照明改修工事を行いました。世代間交流施設建設の効果もあり、入館者数が増えました。ボランティア活動は、読みきかせボランティア養成講座(絵本講座)開講10周年にあたり、子どもゆめ基金助成による外部講師講演会を開催、延べ135名が受講しレベルアップを図ることができました。読みきかせ活動の場も保育園へ広がりました。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

環境整備を継続しておこなうとともに、引き続き図書館ボランティアの育成、資質向上を目指します。また、ブックスタートフォローアップのためのセカンドブックを実施します。さらに利用しやすい図書館にするため開館日数を増やします。

24年度予算見積書への反映 あり なし

〔反映内容〕

屋上防水工事費、階段転落防止工事費の計上。セカンドブック事業費の計上。開館日数増加分の人件費の計上。

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

地域の情報源として、引き続き、資料の充実と各種サービスの向上を図り、利用しやすい館内整備・施設の改善に努める。ボランティアの育成と資質の向上を図り、住民参加の下に、利用・活用の拡大を図る

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



上記 a~e を選択